

第4次瀬戸内中讃定住自立圏共生ビジョンについて

1 第3次ビジョンの検証

①目標人口に対する状況

令和8年に187,000人という圏域の目標人口に対して、下記のとおり現時点では、令和8年1月時点で181,013人となっており、すべての市町で人口減少のペースが加速している状況が見受けられる。

	R3	R4	R5	R6	R7 国勢調査 (速報値)
丸亀市	109,364	108,541	108,116	107,763	106,801
善通寺市	31,168	30,780	30,448	30,027	29,704
琴平町	8,258	8,105	7,938	7,785	7,631
多度津町	21,810	21,399	21,376	21,156	21,201
まんのう町	17,051	16,787	16,493	16,277	16,040
合計	187,651	185,612	184,371	183,008	181,377
前年比増減	—	▲2,039	▲1,241	▲1,363	▲1,631

※基準日：10月1日

②政策分野ごとの取組状況

第3次ビジョンで進めてきた各施策の政策分野ごとの取組状況は別紙のとおり。

2 第4次ビジョンの前提

①定住自立圏構想推進要綱

ビジョンに記載すべき内容については、国の定住自立圏構想推進要綱に定められているため、同要綱に基づいて作成する。

②第34次地方制度調査会への諮問

首相の諮問機関である地方制度調査会において、人口減少下における人材不足や偏在、デジタル化の進展を踏まえ、将来にわたり持続可能かつ最適な行政サービスを提供するための地方制度の在り方について諮問がなされ、議論が進められている。

また、国の「経済財政運営と改革の基本方針2026」においても、人口減少や人材不足への対応として、地方公共団体間の連携や広域リージョン連携の強化が示されている。

こうした状況を踏まえ、広域連携を行政の効率化やコスト削減のための手段にとどめることなく、住民サービスや地域の活力の維持・向上を目指した戦略的な連携へと発展させる。

3 第4次ビジョンの方向性

①計画期間

国の要綱に基づき、令和8年度から令和12年度までの5年間とする

②構成・内容

・将来像

「ひと・まち・たから 瀬戸内の未来をひらく つながる中讃」

・政策体系

○生活機能の強化 … 医療、子育て支援、教育、スポーツ振興、産業振興など

○結びつきやネットワークの強化 … 地域公共交通、DX、移住交流、消防など

○圏域マネジメントの強化 … 人材育成など

③政策体系

第3次ビジョンの継続事業、新たに取り組むべき事業の整理を行い、各分野の課題に対応する取組を検討する。あわせて、進捗管理を行うための成果指標を設定する。

ビジョンの策定に向けては、2市3町の政策担当部署で構成する事務調整会議において協議し、ビジョン懇談会に提案するビジョン（案）の作成を進める。

4 策定手順及びスケジュール

月	事務調整 会議	政策会議	庁議	ビジョン 懇談会	形成推進 委員会	議会	意見募集
R8.8				委嘱			
9月	政策体系案						
10月							
	ビジョン案	ビジョン案					
			ビジョン案	ビジョン案			
11月					ビジョン案		
12月	パブコメ 議案					ビジョン案	
R9.1							パブコメ
2月					変更協定案		
3月					ビジョン 決定	協定案提案	